

俳句を写真画像と共に楽しむ 〈奇数月28日発刊〉

●しゃらくかい 写楽同会

令和6年 冬の号 [vol.90]

(11・12月)

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

投稿先; kinuko_thompson@hotmail.com

© 2024 Sharakukai



イメージ写真

冬 (11・12月) の兼題「鍋料理」 出題: 水澄

写真俳句の部

(掲載ランダム)



湯治場やしずかに暮れて茶粥鍋

(季語: 茶粥鍋=冬)

池福楼

[温泉宿の夜食に出た茶粥の優しい味が忘れられない]



凍星や今夜は鍋とラインの来

凍星や今夜は鍋とラインの来

(季語: 凍星=冬)

福来雀



潮が引き舳う小舟でおでんかな

潮が引き舳う小舟でおでんかな

(季語: おでん=冬) [三日月と金星 (スペイン)]

陽閑



山の宿焚き木はじけり牡丹鍋

山の宿焚き木はじけり牡丹鍋

(季語: 牡丹鍋=冬)

水澄



老人静かにつつく鍋料理

(季語: 無季)

昼寝覚



寄せ鍋を囲めば同じあの話

(季語: 寄せ鍋=冬)

iSAMU



湯豆腐や湯加減熱し肩を出す

(季語: 湯豆腐=冬)

準坊



ふっふつと湯気立つ鍋や冬の夜

(季語: 冬の夜=冬)

千泉

「湯気立つ」も冬の季語ですが敢えて「冬の夜」に比重をおきました。



芋煮会^{なま}お国訛りをちょっと混ぜ

(季語: 芋煮会=秋)

久芽



寄せ鍋の蟹さんガマン赤い顔

(季語: 寄せ鍋=冬)

梵木

深冷の沈む夕日に鍋のゆげ 陽閑 (季語：深冷=冬)

鮫鰯の七つ道具も湯気の中 昼寝覚 (季語：鮫鰯=冬)

ロンドンのスキヤキの牛ミンチ香る マム (季語：すき焼き=冬)

鐘鳴りて湯豆腐旨し座禅あと 水澄 (季語：湯豆腐=冬)

寄せ鍋に結露の窓を少し開け 準坊 (季語：寄せ鍋=冬)

星冴えるもやしを山に一人鍋 福来雀 (季語：星冴える=冬)

若き日の闇汁思い苦笑ひ 千泉 (季語：闇汁=冬)

同じ夫^{つま}同じ土鍋のうちの冬 一枝 (季語：冬)

湯豆腐やぶくぶくとうふ湯気の中 梵木 (季語：湯豆腐=冬)

牡蠣鍋や百歳^{はは}義母の幼な顔 池福楼 (季語：牡蠣鍋=冬)

寄せ鍋や鍋奉行の合図待つ 久芽 (季語：寄せ鍋=冬)



季語解説

鍋料理＝今回の兼題「鍋料理」に関しては季語に乗らない鍋もありましたが、全部【冬】の季語として扱いました。湯豆腐・寄せ鍋・土手鍋・茶粥鍋・牡丹鍋・すき焼き・牡蠣鍋

闇汁 (やみじる)＝闇汁会などといって、灯を消した室内で、持ち寄った食べ物の名を教えぬまま鍋の中に入れ煮て食べる。食べたものの名を当てたり、思いがけぬものが箸にかかったりするのを楽しむ。【冬】

深冷 (しんれい)＝「深冷の候」。風が冷たくなり、寒さが深まってきた頃を表します。葉が紅葉し、落葉するまでの間に使われる時候の季語。【冬】

鮫鰯 (あんこう)＝鮫鰯は頭と骨以外は食べられるといわれ部位はヤナギ、カワ、水袋、キモ、ヌノ、エラ、トモの7種。鮫鰯の七つ道具と呼ばれている。特にキモは鮫鰯鍋をつくるときは重要です。【冬】

凍星 (いてほし)＝【冬の星】寒星・寒昴・寒オリオン・寒北斗・冬北斗・冬銀河。冬は大気が澄み、凍空の星の光は鋭い。昴やオリオン座はすぐに見つけることができる。【冬】

陽閑

聞けば良い聞かずに迷う男性脳 [男ってそんなもんさ]

メニュー読みヴィジュアル出来ずたまげたなあ [サンプル写真付けて~]

池福楼

鍋奉行肉の取り分差配する [うちの奉行は不正を見逃さない]

福朱雀

また一年才能なしと凡人句 [継続は力?]

水澄

コラーゲンあんこう鍋に老い忘れ [無駄な抵抗?]

準坊

クシャミして同時に放屁バツ悪し [皆さん覚えが有りませんか? 無いか。]

千泉

今日もまた鍋料理かと手抜きばれ [残れば三日はもつ]

忘れじとメモを取りしもメモなくし [健忘症で~す]

小倉駅近くにある京町銀天街には川柳愛好家の集まりがあり、アーケードの中に10点ぐらいの川柳が出ており行くたびに新しいのが出ています。今回は高校生の川柳でした。

父のギャグ母のオコゴト聞いたフリ 高1 男子

本の中何でもなれる夢の時^{とき}間 高1 女子

投稿写真

iSAMUさんより戸隠で撮った
写真の投稿をいただきました
ので掲載いたします。

戸隠鏡池



初春(1・2月)の号 兼題「旅」

イメージ写真

- 久芽さんより初春 1・2月号の兼題を「旅」と出題していただきました。隔月という課題になりますが季節は幅広く捉えて自由に発想を広げて作句をお願いします。
締め切りは令和 7 年 1 月 20 日です。
- 写楽句会にご意見、ご希望等ございましたらお知らせください。

下記の iSAMU さんのホームページから「写楽句会」をクリックして
頂くと写楽句会のバックナンバーが閲覧できます。

<https://isamusouma.web.fc2.com/>

写楽句会 連絡先: kinuko_thompson@hotmail.com

© 2024 Sharakukai